



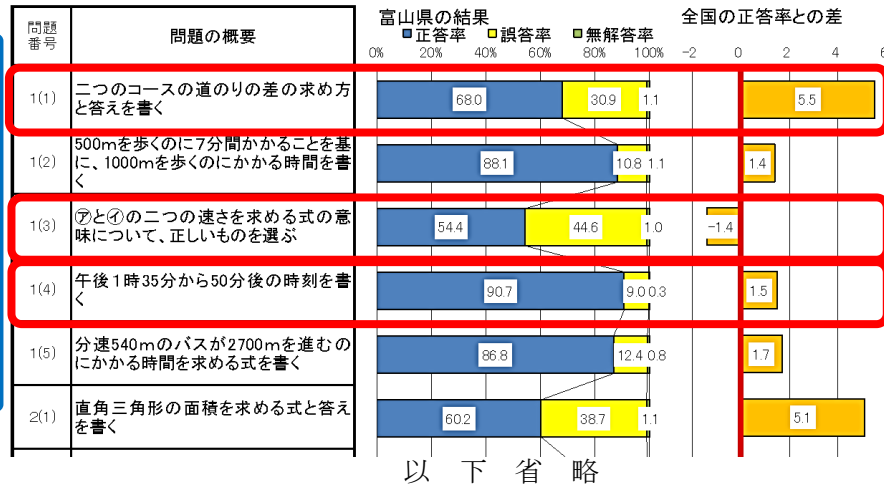
速報 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました

全国学力・学習状況調査の結果からは、一人一人の児童生徒の学力や学習状況を把握して、全国的な状況との比較などにより指導に生かすことができます。調査結果の分析を踏まえて、校内研修を行うことなどにより、学校全体や各学級における指導方法等の改善につなげていきましょう。

結果の分析を行う際には、問題ごとに求められている力を確認し、自校児童生徒のよくできているところや課題をつかむことが大切です。

本県児童生徒の○よくできているところや△課題（一部抜粋して紹介）

小学校算数



○道のりの差を求める問題の正答率は、全国より5.5ポイント高い。
△正答率は、68.0%である。

△速さを求める式や商の意味を答える問題の正答率は54.4%で、全国より1.4ポイント低い。

○条件に合った時刻を求める問題の正答率は90.7%で、全国より1.5ポイント高い。

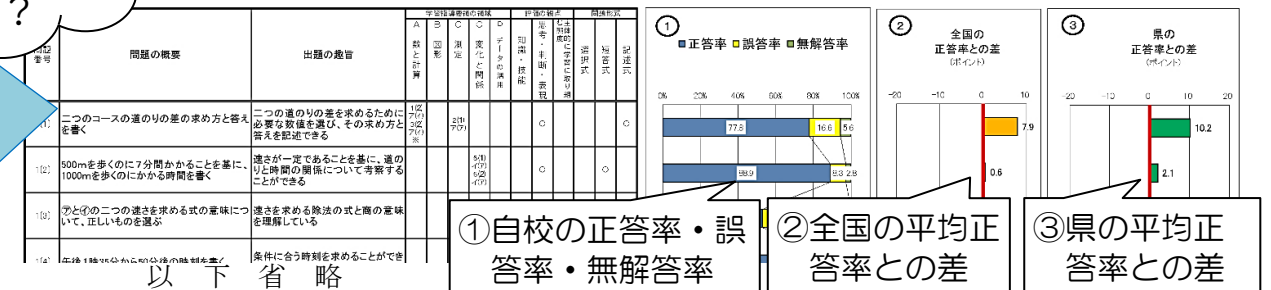
自校のよくできているところや課題はどんなところかな？



「我が校の学力・学習診断ソフト」で実態把握を！

結果をグラフで可視化することで、分析がしやすくなります。

「①教科に関する結果（正答率・誤答率・無解答率）」の画面イメージ（サンプルデータ）



①自校の正答率・誤答率・無解答率

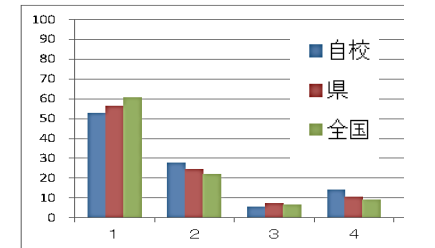
②全国の平均正答率との差

③県の平均正答率との差



指導改善には、誤答分析が有効です！

「②教科に関する結果（解答類型）」を活用し、どんな誤答が多かったかをグラフで確認しましょう。特に、自校で課題が見られた問題について、児童生徒がどんなつまづきをしているのかを把握し、日々の指導改善に生かしましょう。



画面イメージ（サンプルデータ）



自校の結果を把握してみましょう。

教科		平均正答率(%)			できているところ (主なもの)	課題 (主なもの)
		全国	県	自校		
国語科	小	64.7	67			
	中	64.6	65			
算数科 数学科	小	70.2	73			
	中	57.2	59			

こちらをご活用ください。

学力向上講演会

9月29日(水) ※オンラインによる講演

・演題「全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた小学校国語科、算数科の学習指導の改善・充実について」
・講師 教育課程研究センター研究開発部 学力調査官(併)教育課程調査官 渡辺 誠 先生(国語科)
稲垣 悦子 先生(算数科)

9月30日(木) ※オンラインによる講演

・演題「全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた中学校国語科、数学科の学習指導の改善・充実について」
・講師 教育課程研究センター研究開発部 学力調査官(併)教育課程調査官 黒田 諭 先生(国語科)
伊吹 竜二 先生(数学科)

アラカルト研修

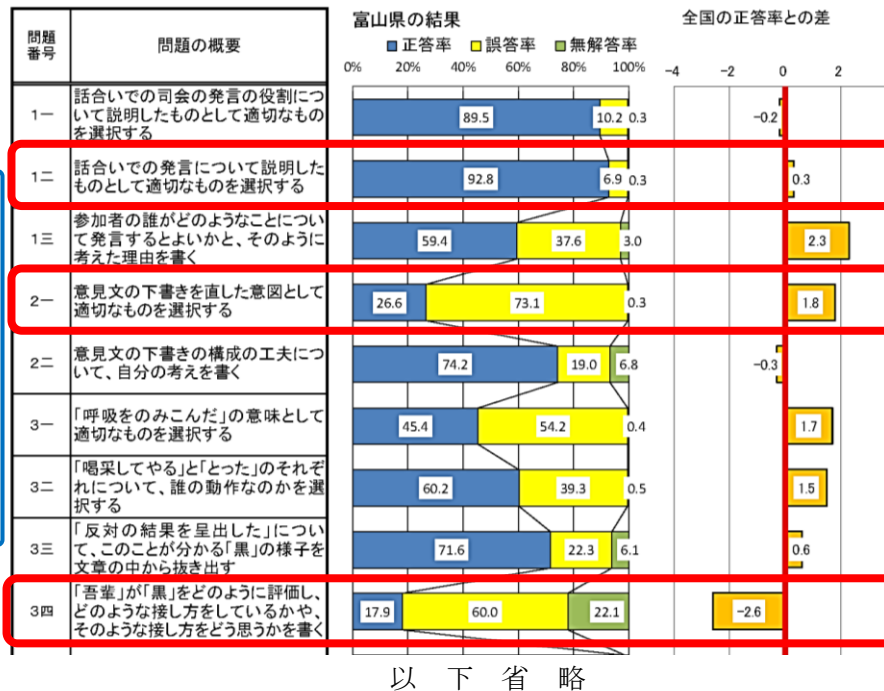
学力向上推進チームでは、調査結果を活用した研修等のお手伝いもしています。

申込みはお電話でどうぞ→076-415-6226(直通)

結果を活用した
研修内容(例)

◆「我が校の学力・学習診断ソフト」を用いた結果の分析
◆結果分析に基づく授業改善 ◆結果の家庭への周知の仕方 など

中学校国語



○話し合いでの質問の意図を捉える問題の正答率は92.8%で、全国より0.3ポイント高い。

○意見文の下書きを書き直した意図について答える問題の正答率は、全国より1.8ポイント高い。
△正答率は26.6%である。

△文章中の表現を捉え、本文を引用して自分の考えを記述する問題の正答率は17.9%で、全国より2.6ポイント低い。

児童生徒質問紙の結果を分析し、日々の教育活動の充実を図りましょう。

例えば、質問番号(5)「平日にゲームをする時間」では、本県の児童の8割以上が「1時間以上」と回答していました。全国よりも4.1ポイント高くなっています。この傾向は、中学校でも同じことが言えます。尚、平成29年度と比較すると、小・中学校ともに20ポイント以上増加しています。

小学校「児童質問紙(5)の結果」より

みなさんの学校は、
どんな結果になりましたか？

